

2024 年 3 月

TG/98/7 Rev.2 2012-03-28 + 2019-06-14

+ 2020-11-10 + 2021-10-26 に準拠

マタタビ属

Actinidia

(*Actinidia* Lindl.)

マタタビ属（生食用）審査基準

I. 審査基準の対象 (Subject of these Guidelines)

この審査基準は、マタタビ科 (Actinidiaceae) マタタビ属 (*Actinidia* Lindl.) の全ての品種に適用する。

II. 提出種苗 (Material Required)

- i) 種苗の形態 1 年生接ぎ木苗。台木の種類（品種）名を記載する。
- ii) 提出時期 審査当局が指定する時期
- iii) 数量 7 個体
- iv) 提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。
- v) 提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

III. 試験の実施 (Conduct of Tests)

- i) 栽培条件 特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。
花性が雌の品種に対しては、正常な受粉のために雄品種を用いることができる。
- ii) 最低供試個体数 5 個体
- iii) 栽培期間 2 生育周期。ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は 2 生育周期目を省略することができる。
- iv) 調査方法
 - 調査個体数 特に指示がない限り、植物体 5 個体、又は各個体から 2 個採取した部分 10 個とする。
均一性は供試した全ての個体で判定する。
 - 調査時期等 特に指示がない限り、特性表の調査方法欄に記載がある下記の記号に示された時期に行う。
 - (a) 新しょうに関する形質は、栄養生長が旺盛な時期に調査する。新しょうの毛は中央部 1/3 の節間を調査する。
 - (b) 熟しょう（芽及び芽の支持部を含む）に関する形質は、落葉後に更新枝（翌年の開花のために誘引して残す枝）の中央部 1/3 について調査する。
 - (c) 葉の形、大きさ及び毛については、着生する枝の部位や生育に大きく影響されるため、更新枝に着生した葉を調査する。
 - (d) 葉に関する形質は、生育中期の、適度に成熟した老化していない典型的な葉を調査する。
 - (e) 枝や葉のアントシアニン着色の有無に関する形質は、毛と器官のどちらが着色するかに関わらず、総合的な外観により評価する。
 - (f) 花に関する形質は、開花直後の中心花を調査する。
 - (g) 収穫適期の果実を調査する。
 - (h) 可食適期（追熟が必要な品種は追熟後）の果実を調査する。

- v) 特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

IV. 判定基準 (Standards for Decisions)

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性 (DUS) 審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種においては、母集団標準 1%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 5 の場合、許容される異型個体数は 0 である。

V. グループ分けに使用する形質 (Grouping of Varieties)

雄品種

- i) 開花始期 (形質 77)

雌品種及び両性品種 (結実する品種)

- i) 果実の重さ (花性が雄の品種を除く。) (形質 47)
ii) 果実の形 (花性が雄の品種を除く。) (形質 51)
iii) 果頂部の形 (花性が雄の品種を除く。) (形質 53)
iv) 果実の毛の有無 (花性が雄の品種を除く。) (形質 60)
v) 果肉の外側部の色 (花性が雄の品種を除く。) (形質 66)
vi) 果肉の子室部の色 (花性が雄の品種を除く。) (形質 67)
vii) 収穫期 (花性が雄の品種を除く。) (形質 78)

VI. 特性表で使用する記号の説明 (Legend)

G: グループ分けに使用する形質

(*): 品種記載の国際調和のための調査形質

QL: 質的形質

QN: 量的形質

PQ: 疑似の質的形質

(+): VIII. 特性表の説明図等を示す

MG: 植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS: 植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG: 植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS: 植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質: 原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質：種苗法施行規則第5条第2項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、すべての状態が特性表に記載してある。しかし、5階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の9階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

VII. 特性表 (Table of Characteristic)

形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	QL (*) (+)	花性	Plant: sex	雌雄の別	観察 VG	1 2 3	雌 雄 両性	female male hermaphrodite	ヘイワード、光香 マツア	
2	2	QL (+)	自家結実性の有 無	Plant: self fruit setting	自家結実性の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present		
3	3	QN	樹勢	Plant: vigor	植物体の全体的な栄 養成長量	観察 VG	1 2 3 4 5	極弱 弱 中 強 極強	very weak weak medium strong very strong	香粧 ヘイワード ブルーノ、金豊 香緑	
4	4	QN (*)	新しょうの毛の 粗密	Young shoot: density of hair	新しょうの毛の粗密	観察 VG (a)	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense	<i>A. arguta</i> 淡路系統、廬 山香 ヘイワード	
5	5	QN (*)	新しょう先端の アントシアニンの 着色	Young shoot: anthocyanin coloration of growing tip	新しょう先端のアン トシアニン着色の強 弱	観察 VG (a) (e)	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	魁蜜、光香、ホート16A 信山 ヘイワード、香粧 香緑	
6	6	QN (*)	熟しょうの太さ	Stem: thickness	熟しょうの直径	測定 mm MS (b)	1 2 3	細 中 太	thin medium thick	<i>A. arguta</i> 月山系統 <i>A. arguta</i> 淡路系統、ヘ イワード 香緑、トムリ、ブルー ノ、信山	

形質番号	UPOV №	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
7	7	PQ (*)	熟しょうの陽光面の色	Stem: color of shoot on sunny side	熟しょうの陽光面の色	観察 VG (b)	1 2 3 4 5 6 7	緑白 灰褐 黄褐 淡褐 赤褐 紫褐 黒褐	green white gray brown yellow brown light brown red brown purple brown dark brown	光香、月山 ヘイワード 香緑、ホート 16A マツア、廬山香 魁蜜、 <i>A. rufa</i> 淡路系統 香粋	
8	8	QN	熟しょうの樹皮の粗滑	Stem: texture of bark	熟しょう表面の樹皮の粗滑	観察 VG (b)	1 2 3	滑 やや粗 粗	smooth moderately rough very rough	信山、ホート 16A <i>A. arguta</i> 月山系統 廬山香、ヘイワード、 <i>A. arguta</i> 淡路系統	
9	9	QN	熟しょうの毛の粗密	Stem: density of hairs	熟しょう表面の毛の粗密	観察 VG (b)	1 2 3	無又は粗 中 密	absent or sparse medium dense	ヘイワード	
10	10	QN (*)	熟しょうの皮目の大きさ	Stem: size of lenticels	熟しょう表面の皮目の大きさ	観察 VG (b)	1 2 3 4 5	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	信山 ヘイワード 廬山香、ホート 16A	
11	11	QN (*)	熟しょうの皮目の多少	Stem: number of lenticles	熟しょう表面の皮目の多少	観察 VG (b)	3 5 7	少 中 多	few medium many	魁蜜 ヘイワード、信山 ブルーノ	

形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
12	12	QN (*) (+)	熟しょうの芽の 支持部の突出	Stem: prominence of bud support	熟しょうの太さに対 する芽の支持部の相 対的な突出	観察 VG (b)	1 2 3 4 5	極弱 弱 中 強 極強	very weak weak medium strong very strong	ヘイワード <i>A. arguta</i> 淡路系統 信山	
13	13	QL (*) (+)	熟しょうの芽の 被覆の有無	Stem: presence of bud cover	熟しょうの表皮によ る芽の被覆の有無	観察 VG (b)	1 9	無 有	absent present	ホート 16A ヘイワード	
14	14	QN (*) (+)	熟しょうの芽の 被覆の開口部の 大きさ	Stem: size of hole in bud cover	熟しょうの表皮によ る芽の被覆の開口部 の大きさ	観察 VG (b)	1 2 3	小 中 大	small medium large	アボット ヘイワード、 <i>A. arguta</i> 淡路系統 <i>A. rufa</i> 長野系統	
15	15	QN (+)	熟しょうの葉柄 痕の深さ	Stem: leaf scar	熟しょうの葉柄痕の 深さ	観察 VG (b)	1 2 3	平 浅 深	flat moderately depressed strongly depressed	金豊、信山 ヘイワード、ホート 16A、 <i>A. rufa</i> 長野系統 モンティ、香粹	
16	16	PQ (*) (+)	熟しょうの中心 髓	Stem: pith	熟しょうの中心髓の 構造	観察 VG	1 2 3	中空 隔壁状 詰まる	absent lamellate solid	光香、ヘイワード、 <i>A. rufa</i> 淡路系統 <i>A. arguta</i> 月山系統	

形質番号	UPOV No	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
17	17	PQ (*) (+)	葉身の形	Leaf blade: shape	葉身の形	観察 VG (c) (d)	1 2 3	披針形 卵形 倒卵形	lanceolate ovate obovate	ヘイワード ブルーノ、マツア	
18	18	QN (*)	葉身の長さ／幅	Leaf blade: ratio length/width	葉身の長さ／幅の比	測定/ 観察 比 MG/ VG (c) (d)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極小 かなり小 小 やや小 中 やや大 大 かなり大 極大	very low very low to low low low to medium medium medium to high high high to very high very high	マツア ヘイワード ブルーノ SkeltonA19	
19	19	PQ (*) (+)	葉身の先端部の形	Leaf blade: shape of apex	葉身の先端部の形	観察 VG (c) (d)	1 2 3 4 5 6 7	尾状形 鋭尖形 鋭形 微突凹形 円形 微凹形 凹形	caudate acuminate acute emarginate with cuspidate rounded retuse emarginate	ヘイワード 信山	

形質番号	UPOV No	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
20	20	QN (*) (+)	葉身の基部の裂片	Leaf blade: basal lobes	葉身の基部裂片の重なり の程度	観察 VG (c) (d)	1 2 3 4 5 6	無 かなり離れる やや離れる 接する やや重なる かなり重なる	none far apart slightly apart touching each other slightly overlapping strongly overlapping	光香、 <i>A. arguta</i> 島根系 統 マツア 香緑、ホート 16A ヘイワード	
21	21	QN (+)	葉身の鋸歯の多少	Leaf blade: number of ciliate serrations	葉身の周縁の鋸歯の 多少	観察 VG (c) (d)	3 5 7	少 中 多	few medium many	ヘイワード、ホート16A、 <i>A. arguta</i> 昭和系統 香稈、 <i>A. arguta</i> 月山系 統 光香	
22	22	QN	葉身の表面の毛の粗密	Leaf blade: density of hair on <u>upper</u> side	葉身表面の毛の粗密	観察 VG (c) (d)	1 3 5 7 9	無又は極粗 粗 中 密 極密	absent or very sparse sparse medium dense very dense	ホート 16A ブルーノ	
23	23	QN	葉身の裏面の毛の粗密	Leaf blade: density of hair on <u>lower</u> side	葉身裏面の毛の粗密	観察 VG (c) (d)	1 3 5 7 9	無又は極粗 粗 中 密 極密	absent or very sparse sparse medium dense very dense	香稈、 <i>A. arguta</i> 島根系 統、 <i>A. rufa</i> 淡路系統 <i>A. arguta</i> 高知系統、 <i>A. arguta</i> 月山系統 ヘイワード、 <i>A. arguta</i> 昭和系統 信山	

形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
24	24	QN (*)	葉身の表面の緑色の濃淡	Leaf blade: intensity of green color of <u>upper</u> side	葉身の表面の緑色の濃淡	観察 VG (c) (d)	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	マツア、魁蜜、 <i>A. arguta</i> 月山系統 ヘイワード、香緑、光香 ブルーノ、信山、 <i>A. rufa</i> 淡路系統	
25	25	PQ (*)	葉身の裏面の色	Leaf blade: color of <u>lower</u> side	葉身の裏面の色（毛を含む全体的な印象）	観察 VG (c) (d)	1 2 3 4 5	白 淡緑 緑 黄緑 黄褐	whitish light green medium green yellow green yellow brown	信山 <i>A. arguta</i> 淡路系統 ブルーノ、 <i>A. rufa</i> 淡路系統 ヘイワード 魁蜜	
26	26	QL	葉身の斑の有無	Leaf blade: variegation	葉身の表面の斑の有無	観察 VG (c) (d)	1 9	無 有	absent present	ヘイワード	
27	27	PQ	葉身の斑の色	Leaf blade: color of variegation	葉身の表面の斑の色	観察 VG (c) (d)	1 2 3	白のみ 白及び黄 黄のみ	white only white and yellow yellow only		
28	28	QN (*)	葉身の長さに対する葉柄の長さ	Leaf: length of petiole relative to blade	葉柄の長さ／葉身の長さの比	観察 VG (c) (d)	1 3 5 7 9	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	光香 ブルーノ、香粹 ヘイワード さぬきゴールド	

形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
29	29	QN	葉柄の毛の粗密	Petiole: density of pubescence	葉柄の毛の粗密	観察 VG (c) (d)	1 2 3	無又は粗 中 密	absent or sparse medium dense	ヘイワード、ホート 16A 香緑、魁蜜	
30	30	QN	葉柄の表面のアントシアニンの着色	Petiole: anthocyanin coloration of <u>upper side</u>	葉柄の上面（陽光面）のアントシアニン着色の強弱	観察 VG (c) (d) (e)	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	光香、 <i>A. arguta</i> 昭和系統 魁蜜 ヘイワード、信山 香緑、 <i>A. arguta</i> 平野系統 <i>A. arguta</i> 長野系統	
31	31	QL (+)	花序の型	Inflorescence: type	花序の型	観察 VG	1 2 3	単頂花序 二出集散花序 多出集散花序	solitary dichasium pleiochasium		
32	32	QN (+)	1 花序当たりの花の数	Inflorescence: number of flowers	1 花序当たりの花の数（蕾を含む）	測定 MG	1 2 3 4 5	極少 少 中 多 極多	very few few medium many very many	ヘイワード マツア トムリ <i>A. arguta</i> 淡路系統	
33	33	QN (+)	第 1 花序の着生節位	Flower bud: position of first spike	結果母枝から見て最初の花序が着生する節の位置	観察 VG	1 2 3	低 中 高	low medium high	<i>A. arguta</i> 昭和系統 <i>A. arguta</i> 月山系統	

形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
34	34	QN	がく片の数	Flower: number of sepals	がく片の枚数	観察 VG (f)	1 2 3	少 中 多	few medium high		
35	35	PQ (*)	がく片の主な色	Flower: main color of sepals	がく片の最大面積を 占める色	観察 VG (f)	1 2 3 4	白 緑 褐 赤褐	white green brown reddish brown	Po-Ca(1) 光香、ホート 16A 信山 <i>A. arguta</i> 淡路系統	
36	36	QN	がく片の毛の粗 密	Flower: density of sepal hairs	がく片の毛の粗密	観察 VG (f)	1 2 3	無又は粗 中 密	absent or sparse medium dense	<i>A. arguta</i> 月山系統 ヘイワード	
37	37	QN (*)	花の直径	Flower: diameter	花の満開時における 直径	測定 cm MG/ MS (f)	1 3 5 7 9	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	<i>A. arguta</i> 月山系統 金豊、マツア 信山 ヘイワード	
38	38	QN (*) (+)	花弁の重なり	Flower: arrangement of petals	花の下面（がく側） から見たときの花弁 の重なり	観察 VG (f)	1 2 3	離れる 接する 重なる	free touching overlapping	<i>A. arguta</i> 昭和系統 モンティ、マツア ヘイワード、信山、 <i>A.</i> <i>arguta</i> 平野系統	
39	39	PQ	花の側面の形	Flower: shape in profile	側面から見た花の形 （花弁の湾曲）	観察 VG (f)	1 2 3	凹 平 凸	concave flat convex	ヘイワード ブルーノ	

形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
40	40	QN	花柱の数（花性が雄の品種を除く。）	<u>Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite:</u> Flower: number of styles	花柱の数	観察 VG (f)	1 2 3	少 中 多	few medium many	光香 ホート 16A 魁蜜、ヘイワード、信山	
41	41	PQ (*) (+)	花柱の向き（花性が雄の品種を除く。）	<u>Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite:</u> Flower: attitude of styles	花の満開時の花柱の着生角度	観察 VG (f)	1 2 3 4	直立 半直立 水平 不規則	erect semi-erect horizontal irregular	モンティ、 <i>A. rufa</i> 淡路系統 アボット、信山、ブルーノ ヘイワード	
42	42	PQ (+)	花弁の表面の主な色	Petal: main color on adaxial side	花弁の表面の主な色	観察 VG (f)	1 2 3 4 5 6 7 8	白 緑白 黄白 緑黄 黄 淡桃 赤桃 赤	white greenish white yellowish white yellowish green yellow light pink red pink red	信山、金豊、ヘイワード 光香	
43	43	QN (+)	花弁の表面の主な色の濃淡の変化	Petal: shading of main color	花弁の主な色の濃淡の変化の方向	観察 VG (f)	1 2 3	基部に向かって淡くなる 均一 先端部に向かって淡くなる	lighter towards base even lighter towards apex	ホート 16A	

形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
44	44	PQ (+)	花卉の表面の二次色	Petal: second color on adaxial side	花卉の表面の二次色	観察 VG (f)	1 2 3 4 5	無 白 緑 淡桃 濃桃	none white green light pink dark pink	ヘイワード	
45	45	PQ (+)	花卉の表面の二次色の分布	Petal: distribution of second color	花卉の二次色の分布する位置	観察 VG (f)	1 2 3	周縁部のみ 不規則な斑状 基部斑のみ	marginal only irregular spotted basal spot only	ヘイワード	
46	46	PQ	やくの色	Anther: color	花の満開時のやくの色	観察 VG (f)	1 2 3 4 5	黄 黄橙 灰 濃紫 黒	yellow yellow orange grey dark purple black	ヘイワード、 <i>A. rufa</i> 長野系統 光香 <i>A. arguta</i> 月山系統、 <i>A. arguta</i> 昭和系統	
47	47	QN (*) (+) G	果実の重さ（花性が雄の品種を除く。）	<u>Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite:</u> Fruit: weight	果実の重さ	測定 g MG (g)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極軽 かなり軽 軽 やや軽 中 やや重 重 かなり重 極重	very low very low to low low low to medium medium medium to high high high to very high very high	<i>A. arguta</i> 月山系統 光香 信山 香粋 ホート 16A モンティ ヘイワード さぬきゴールド	

形質番号	UPOV No	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
48	48	QN (*) (+)	果実の長さ（花性が雄の品種を除く。）	<u>Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite:</u> Fruit: length	果実の長さ	測定/ 観察 cm MS/ VG (g)	3 5 7	短 中 長	short medium long	ヘイワード ブルーノ	
49	49	QN (*) (+)	果実の幅（花性が雄の品種を除く。）	<u>Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite:</u> Fruit: width	果実の最大幅	測定/ 観察 cm MS/ VG (g)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ブルーノ ヘイワード	
50	50	QN (*) (+)	果実の長さ／幅（花性が雄の品種を除く。）	<u>Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite:</u> Fruit: ratio length/width	果実の長さ／幅の比	測定/ 観察 比 MG/ VG (g)	3 5 7	小 中 大	low medium high	ヘイワード ブルーノ	
51	51	PQ (*) (+) G	果実の形（花性が雄の品種を除く。）	<u>Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite:</u> Fruit: shape	果実の側面から見た形状	観察 VG (g)	1 2 3 4 5 6	卵形 長楕円形 楕円形 円形 扁円形 倒卵形	ovate oblong elliptic circular oblate obovate	光香、ホート 16A、 <i>A. arguta</i> 月山系統 ブルーノ ヘイワード 信山、魁蜜 モンティ	

形質番号	UPOV No	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
52	52	PQ (*) (+)	果実中央部の横断面の形（花性が雄の品種を除く。）	<u>Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite:</u> Fruit: shape in cross section (at median)	果実の中央部の横断面の形（扁平の程度）	観察 VG (g)	1 2 3	円形 扁円形 横楕円形	circular oblate transverse elliptic	ブルーノ 香粋 ヘイワード	
53	53	PQ (*) (+) G	果頂部の形（花性が雄の品種を除く。）	<u>Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite:</u> Fruit: stylar end	果頂部の形	観察 VG (g)	1 2 3 4 5 6 7	かなりくぼむ ややくぼむ 平 丸 やや突出 かなり突出 尖る	strongly depressed weakly depressed flat rounded weakly blunt protruding strongly blunt protruding pointed protrusion	<i>A. rufa</i> 淡路系統 ヘイワード ホート 16A 金豊、 <i>A. arguta</i> 月山系統、Po-Ca(1)	
54	54	QN (+)	果頂部の尖りの強弱（果頂部の形が尖るの品種に限る。）	<u>Only varieties with fruit: stylar end: pointed protrusion:</u> Fruit: degree of pointed protrusion	果頂部の尖りの強弱	観察 VG (g)	1 2 3	弱 中 強	weak medium strong		
55	55	QN (+)	果実のがくの周囲のリング（花性が雄の品種を除く。）	<u>Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite:</u> Fruit: presence of calyx ring	果実のがく周囲のリングの明瞭度	観察 VG (g)	1 2 3	無又は不明瞭 やや不明瞭 明瞭	absent or weakly expressed medium expressed strongly expressed	光香、ブルーノ ヘイワード ホート 16A、魁蜜	

形質番号	UPOV №	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
56	56	PQ (*) (+)	果実の肩部の形 (花性が雄の品種を除く。)	<u>Only varieties with</u> <u>plant: sex: female or</u> <u>hermaphrodite:</u> Fruit: shape of shoulder at stalk end	果実の果柄側の肩部 の形	観察 VG (g)	1 2 3	切形 丸形 鈍形	truncate weakly sloping strongly sloping	光香、魁蜜 ヘイワード ブルーノ	
57	57	QN (*)	果柄の長さ（花性が雄の品種を除く。)	<u>Only varieties with</u> <u>plant: sex: female or</u> <u>hermaphrodite:</u> Fruit: length of stalk	果柄の長さ	測定/ 観察 cm MS/ VG (g)	1 3 5 7 9	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	<i>A. arguta</i> 平野系統 信山、金豊 光香、ヘイワード グレーシー	
58	58	QN (*) (+)	果実に対する果柄の長さ（花性が雄の品種を除く。)	<u>Only varieties with</u> <u>plant: sex: female or</u> <u>hermaphrodite:</u> Fruit: length of stalk relative to length of fruit	果柄の長さ／果実の 長さの比	測定/ 観察 比 MS/ VG (g)	3 5 7	小 中 大	short medium long	ブルーノ 信山 光香、ヘイワード	
59	59	QN	果実の表皮の皮目の明瞭さ（花性が雄の品種を除く。)	<u>Only varieties with</u> <u>plant: sex: female or</u> <u>hermaphrodite:</u> Fruit: conspicuousness of lenticels on skin	果実の表皮上の皮目の 大きさと数による 明瞭さ	観察 VG (g)	1 2 3	弱 中 強	weak medium strong	ホート 16A ヘイワード 香料	

形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
60	60	QL (*) G	果実の毛の有無 (花性が雄の品 種を除く。)	<u>Only varieties with</u> <u>plant: sex: female or</u> <u>hermaphrodite:</u> Fruit: hairiness of skin	果実の表皮の毛の有 無	観察 VG (g)	1 9	無 有	absent present	信山、 <i>A. arguta</i> 昭和系 統 ヘイワード	
61	61	QN (*)	果実の毛の粗密 (花性が雄の品 種を除く。)	<u>Only varieties with</u> <u>plant: sex: female or</u> <u>hermaphrodite:</u> Fruit: density of hairs	果実の表皮の毛の粗 密 (毛の数と長さを 総合的に評価)	観察 VG (g)	1 2 3 4 5	極粗 粗 中 密 極密	very sparse sparse medium dense very dense	香粋 ホート 16A ヘイワード ブルーノ	
62	62	PQ	果実の毛の色 (花性が雄の品 種を除く。)	<u>Only varieties with</u> <u>plant: sex: female or</u> <u>hermaphrodite:</u> Fruit: color of hairs	果実の表皮の毛の色	観察 VG (g)	1 2 3 4 5 6	白 黄 黄褐 赤褐 褐 黒褐	white yellow yellow brown reddish brown medium brown dark brown	ホート 16A ヘイワード 香緑、ブルーノ	
63	63	QN (*)	果実の毛の脱落 の難易 (花性が 雄の品種を除 く。)	<u>Only varieties with</u> <u>plant: sex: female or</u> <u>hermaphrodite:</u> Fruit: adherence of hairs to skin	果実の表皮を指でこ すったときの毛の脱 落の難易	観察 VG (g)	1 2 3 4 5	極易 易 中 難 極難	very weak weak medium strong very strong	香緑、魁蜜 アボット ヘイワード	

形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
64	64	PQ (*)	果実の表皮の色 (花性が雄の品 種を除く。)	<u>Only varieties with</u> <u>plant: sex: female or</u> <u>hermaphrodite: Fruit:</u> color of skin	可食適期の果実の表 皮の色（毛の色を除 く）	観察 VG (h)	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	淡緑 緑 赤緑 黄 緑褐 赤褐 淡褐 褐 黒褐 紫赤	light green medium green reddish green yellow greenish brown reddish brown light brown medium brown dark brown purple red	光香 ヘイワード、信山 ホート 16A、 <i>A. rufa</i> 淡 路系統 さぬきゴールド 香粒	
65	65	QN	果実の表皮と果 肉の離れやすさ (花性が雄の品 種を除く。)	<u>Only varieties with</u> <u>plant: sex: female or</u> <u>hermaphrodite: Fruit:</u> adherence of skin to flesh	可食適期における果 実の表皮と果肉の離 れやすさ	観察 VG (h)	1 2 3	易 中 難	weak medium strong	ヘイワード	

形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
66	66	PQ (*) (+) G	果肉の外側部の色（花性が雄の品種を除く。）	<u>Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite:</u> Fruit: color of outer pericarp	可食適期の果肉の外果皮部分の色	観察 VG (h)	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	淡緑 緑 濃緑 緑黄 黄 濃黄 黄橙 橙 赤 赤紫	light green medium green dark green greenish yellow medium yellow dark yellow yellowish orange orange red red purple	信山 ヘイワード 香稔、香緑 ホート 16A さぬきゴールド	
67	67	PQ (*) (+) G	果肉の子室部の色（花性が雄の品種を除く。）	<u>Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite:</u> Fruit: color of locules	可食適期の果肉の子室部の色	観察 VG (h)	1 2 3 4 5 6 7 8	淡緑 緑 濃緑 緑黄 黄 濃黄 赤 赤紫	light green medium green dark green greenish yellow medium yellow dark yellow red red purple	信山 ヘイワード ホート 16A さぬきゴールド	
68		QL	果心周辺の赤色着色の有無（花性が雄の品種を除く。）	<u>Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite:</u> Fruit: reddish color along locules	可食適期の果心周辺の赤色着色の有無	観察 VG (h)	1 9	無 有	absent present		

形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
69	68	QN (+)	果心周辺の赤色 着色の広がり (果心周辺の赤 色着色が有の品 種に限る。)	<u>Only varieties with</u> <u>fruit: reddish color</u> <u>along locules: present:</u> Fruit: spread of reddish color along locules	可食適期の果心周辺 の赤色着色の面積の 広がり	観察 VG (h)	1 2 3 4 5	極弱 弱 中 強 極強	very weak weak medium strong very strong	レッドプリンセス	
70	69	QN	果心周辺の赤色 着色の濃淡 (果 心周辺の赤色着 色が有の品種に 限る。)	<u>Only varieties with</u> <u>fruit: reddish color</u> <u>along locules: present:</u> Fruit: intensity of reddish color in locules	可食適期の果心周辺 の赤色着色の濃淡	観察 VG (h)	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	レッドプリンセス	
71	70	QN (*) (+)	果実に対する果 心の幅 (花性が 雄の品種を除 く。)	<u>Only varieties with</u> <u>plant: sex: female or</u> <u>hermaphrodite:</u> Fruit: width of core relative to fruit	可食適期の果実の最 大幅に対する果心の 最大幅の相対的な大 きさ	観察 VG (h)	3 5 7	小 中 大	small medium large	ホート 16A ブルーノ ヘイワード	
72	71	PQ (*) (+)	果心の形 (花性 が雄の品種を除 く。)	<u>Only varieties with</u> <u>plant: sex: female or</u> <u>hermaphrodite:</u> Fruit: general shape of core in cross section	可食適期の果実の果 心の横断面の形 (扁 平の程度)	観察 VG (h)	1 2 3	円形 扁円形 横楕円形	circular oblate transverse elliptic	ブルーノ ヘイワード、信山 魁蜜、ホート 16A	
73	72	PQ (*)	果心の色 (花性 が雄の品種を除 く。)	<u>Only varieties with</u> <u>plant: sex: female or</u> <u>hermaphrodite:</u> Fruit: color of core	可食適期の果心の色	観察 VG (h)	1 2 3 4	白 緑白 黄白 赤紫	white greenish white yellow white red purple	ヘイワード ホート 16A、金豊、信山	

形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
74	73	QN (+)	果実の糖度（花性が雄の品種を除く。）	<u>Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite:</u> Fruit: sweetness	可食適期における果汁の可溶性固形物含量	測定 % MS (h)	3 5 7	低 中 高	low medium high	ヘイワード 雪娘 光香、ホート 16A、香粹	
75	74	QN (+)	果実の酸度（花性が雄の品種を除く。）	<u>Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite:</u> Fruit: acidity	可食適期における果汁の酸度	測定 % MG (h)	3 5 7	低 中 高	low medium high	香緑、信山、さぬきゴールド ヘイワード ブルーノ、 <i>A. arguta</i> 月山系統	
76	75	QN (*)	ほう芽期	Time of vegetative bud burst	全体の 10%の芽から新しょうの緑色が見えた時期の早晩	測定/ 観察 月日 MG/ VG	1 3 5 7 9	極早 早 中 晩 極晩	very early early medium late very late	香粹、FCM-1、ホート 16A さぬきゴールド、雪娘 ヘイワード、信山 光香	
77	76	QN (*) G	開花始期	Time of beginning of flowering	全体の 10%の花芽が完全に開花した時期の早晩	測定/ 観察 月日 MG/ VG	1 3 5 7 9	極早 早 中 晩 極晩	very early early medium late very late	FCM-1 ホート 16A、雪娘 さぬきゴールド、香粹 讃緑、ヘイワード	
78	77	QN (*) (+) G	収穫期（花性が雄の品種を除く。）	<u>Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite:</u> Time of maturity for harvest	収穫に適した時期の早晩	測定/ 観察 月日 MG/ VG	1 3 5 7 9	極早 早 中 晩 極晩	very early early medium late very late	光香 <i>A. arguta</i> 昭和系統 さぬきゴールド、香粹 香緑、ヘイワード、雪娘	

VIII. 特性表の説明 (Explanations on the Table of Characteristics)

形質 1 花性 Char. 1 Plant: sex

雄品種の花は、やくを持つが柱頭を持たない。

雌品種の花は、柱頭とやくの両方を持つが、やくに花粉がない。

両性品種の花は、柱頭と花粉を持ったやくの両方を持つ。

A hermaphrodite variety has flowers with stigmas and anthers with pollen.

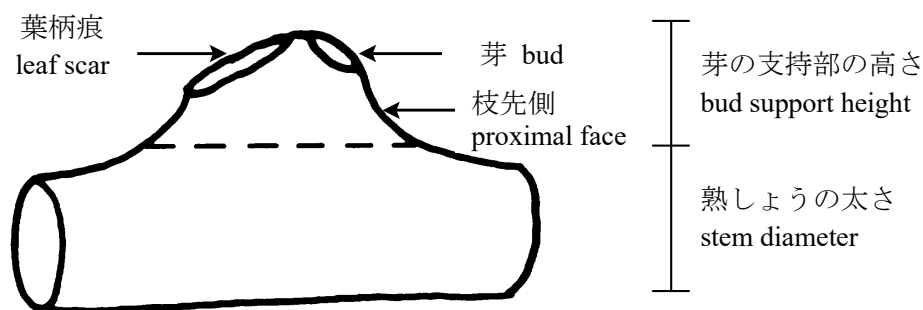
形質 2 自家結実性の有無 Char. 2 Plant: self fruit setting

自家結実性品種は受粉品種が無い場合や、袋がけをした場合でも結実する。花性が雌又は雄の場合、自家結実性は無である。

A self fruiting variety will set viable fruit without the presence of polliniser male plants or if flowers are bagged to prevent cross pollination.

形質 12 熟しょうの芽の支持部の突出 Char. 12 Stem: prominence of bud support

形質 15 熟しょうの葉柄痕の深さ Char. 15 Stem: leaf scar



(芽の支持部の高さ) / (熟しょうの太さ) の比較により評価する。

The prominence of the bud support is determined by the bud support height/stem diameter contrast.

形質 13 熟しょうの芽の被覆の有無

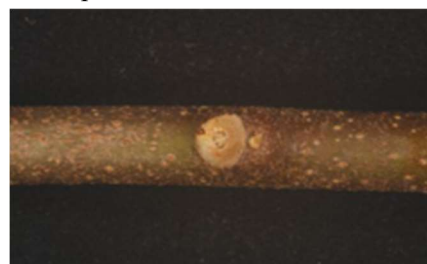
Char. 13 Stem: presence of bud cover



1

無

absent



9

有

present

芽が直接見えるかどうかにより判定する。被覆の無い品種は芽が強く突出し、はっきりと確認できる。被覆のある品種は熟しょうに芽が埋まり、ほとんど見えない。

The absence or presence of the bud cover is indicated by the visibility of the bud. A variety with no bud cover has a strongly protruding bud which is clearly visible. A variety with a bud cover has an almost invisible bud that appears sunk into the stem.

形質 14 熟しょうの芽の被覆の開口部の大きさ

Char. 14 Stem: size of hole in bud cover

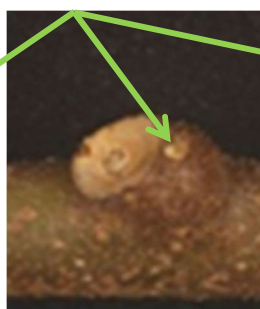
芽の被覆 bud cover



1

小

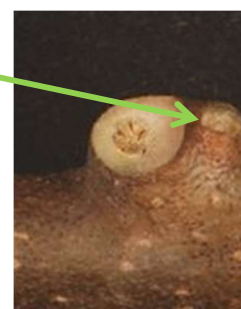
small



2

中

medium



3

大

large

形質 16 熟しょうの中心髓

Char. 16 Stem: pith

熟しょうの縦断面の上から内部を観察する。

- 1 中空：中心部は空洞。
- 2 隔壁状：中心髓は重なった薄い層から成る。
- 3 詰まる：中心髓は緻密な塊から成る。

The stem is cut in longitudinal section and the inner part is observed from above.

- 1 absent: The inner part is empty or hollow.
- 2 lamellate: The pith consists of layers of thin plates, one against another.
- 3 solid: The pith consists of a dense mass.

形質 17 葉身の形 Char. 17 Leaf blade: shape



1
披針形
lanceolate



2
卵形
ovate



3
倒卵形
obovate

形質 19 葉身の先端部の形 Char. 19 Leaf blade: shape of apex

尖る

pointed



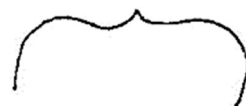
1
尾状形
caudate



2
鋭尖形
acuminate



3
鋭形
acute



4
微突凹形
emarginate with
cuspidate

円

rounded



5
円形
rounded

くぼむ

notched



6
微凹形
retuse



7
凹形
emarginate

形質 20 葉身の基部の裂片

Char. 20 Leaf blade: basal lobes



1
無
none



2
かなり離れる
far apart



3
やや離れる
slightly apart



4
接する
touching each other



5
やや重なる
slightly overlapping



6
かなり重なる
strongly overlapping

形質 21 葉身の鋸歯の多少

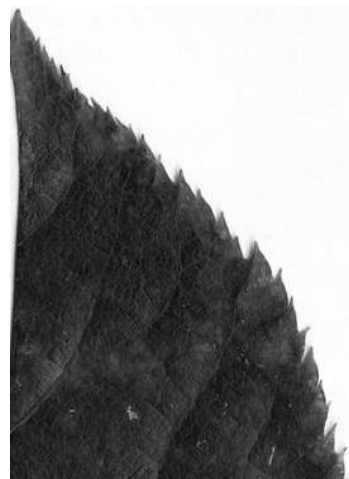
Char. 21 Leaf blade: number of ciliate serrations



3
少
few



5
中
medium



7
多
many

形質 31 花序の型

Char. 31 Inflorescence: type



1

単頂花序
solitary



2

二出集散花序
dichasium



3

多出集散花序
pleiochasium



形質 32 1 花序当たりの花の数

Char. 32 Inflorescence: number of flowers

花は新しょうの 1~6 節目に着生する。調査は少なくとも 2 節の花序が発達し、開花直前に達した時期に行う。1 花序当たりの着生した花の数を記録する。少なくとも 1 株あたり 2 本の新しょうで観察することが推奨される。

Flowers occur on the first 1-6 nodes on a current season's shoot. The observation should be made immediately before flower opening, when at least 2 nodes have developed. The number of flowers present at each node is recorded. It is recommended that at least two shoots are observed per plant.

形質 33 第 1 花序の着生節位

Char. 33 Flower bud: position of first spike

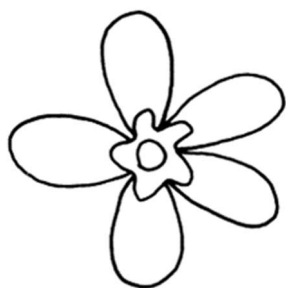
新しょうの基部から数えて何番目の節に第 1 花序が着生しているかを観察する。基部側の最下部の節に花序が着生する品種もある。

The position of the first spike is determined by node order, of which the first spike is set, from the base. Some varieties set the first spike at the lowest node from the base.

形質 38 花弁の重なり Char. 38 Flower: arrangement of petals

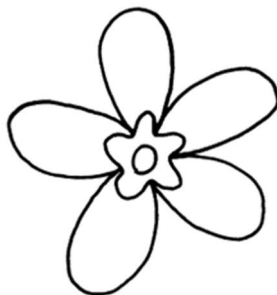
下図のように花の下（がく側）から観察して評価する。

Flowers are viewed from beneath as shown in the diagrams.



1

離れる
free



2

接する
touching



3

重なる
overlapping

形質 41 花柱の向き（花性が雄の品種を除く。）

Char. 41 Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite: Flower: attitude of styles

階級 4 不規則：花柱の向きは直立、半直立及び水平のうち 2～3 種類の混合から成る。全体的な印象としては一貫性なくばらつくか、1 つのタイプが多いかのいずれかである。

State 4 irregular: The attitude of the styles is a mixture of erect, semi erect and horizontal in any combination of two of three different attitudes. The general impression of the flowers is one of no consistency of style attitude or a single predominant style attitude.

形質 42 花弁の表面の主な色 Char. 42 Petal: main color on adaxial side

形質 43 花弁の表面の主な色の濃淡の変化 Char. 43 Petal: shading of main color

主な色は、花弁において最大の面積を占める色を指す。主な色は同系色で、基部から先端部にかけて濃淡の変化が見られる場合がある。

The main color is the color with the largest surface area on the petal. The main color may be shaded, being darker or lighter from base to apex. This is also referred to as a different intensity of color or color gradient on an organ.

形質 44 花弁の表面の二次色 Char. 44 Petal: second color on adaxial side

形質 45 花弁の表面の二次色の分布 Char. 45 Petal: distribution of second color

二次色は、花弁において 2 番目に大きな面積を占める色を指す。二次色は主な色と異なる色相で基部斑、花弁全体の不規則な斑若しくは花弁の縁や縁部の一様な着色として発現する。

The secondary color is identified as the color with the second largest surface area on the organ. The second color occurs as a single basal spot, irregular spotting over the entire petal or solid coloration on or near the margin.

形質 47 果実の重さ（花性が雄の品種を除く。）

Char. 47 Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite: Fruit: weight

果実の重さは 5 個体から 5 個ずつ、25 個の果実を採取して測定した果実 1 個当たりの平均重とする。

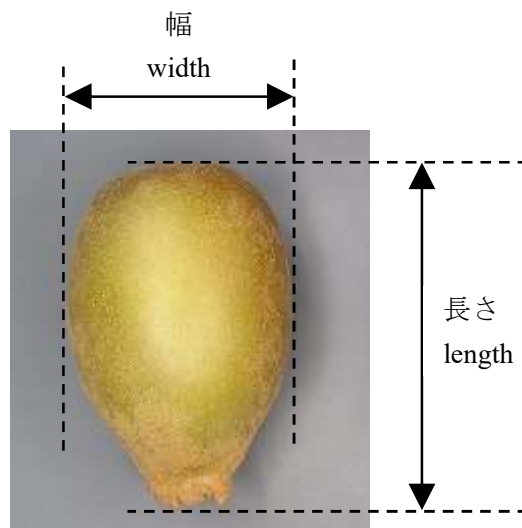
Fruit weight should be determined by a sample size of 25 harvested fruits, 5 each from 5 plants.

形質 48 果実の長さ（花性が雄の品種を除く。）

Char. 48 Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite: Fruit: length

形質 49 果実の幅（花性が雄の品種を除く。）

Char. 49 Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite: Fruit: width

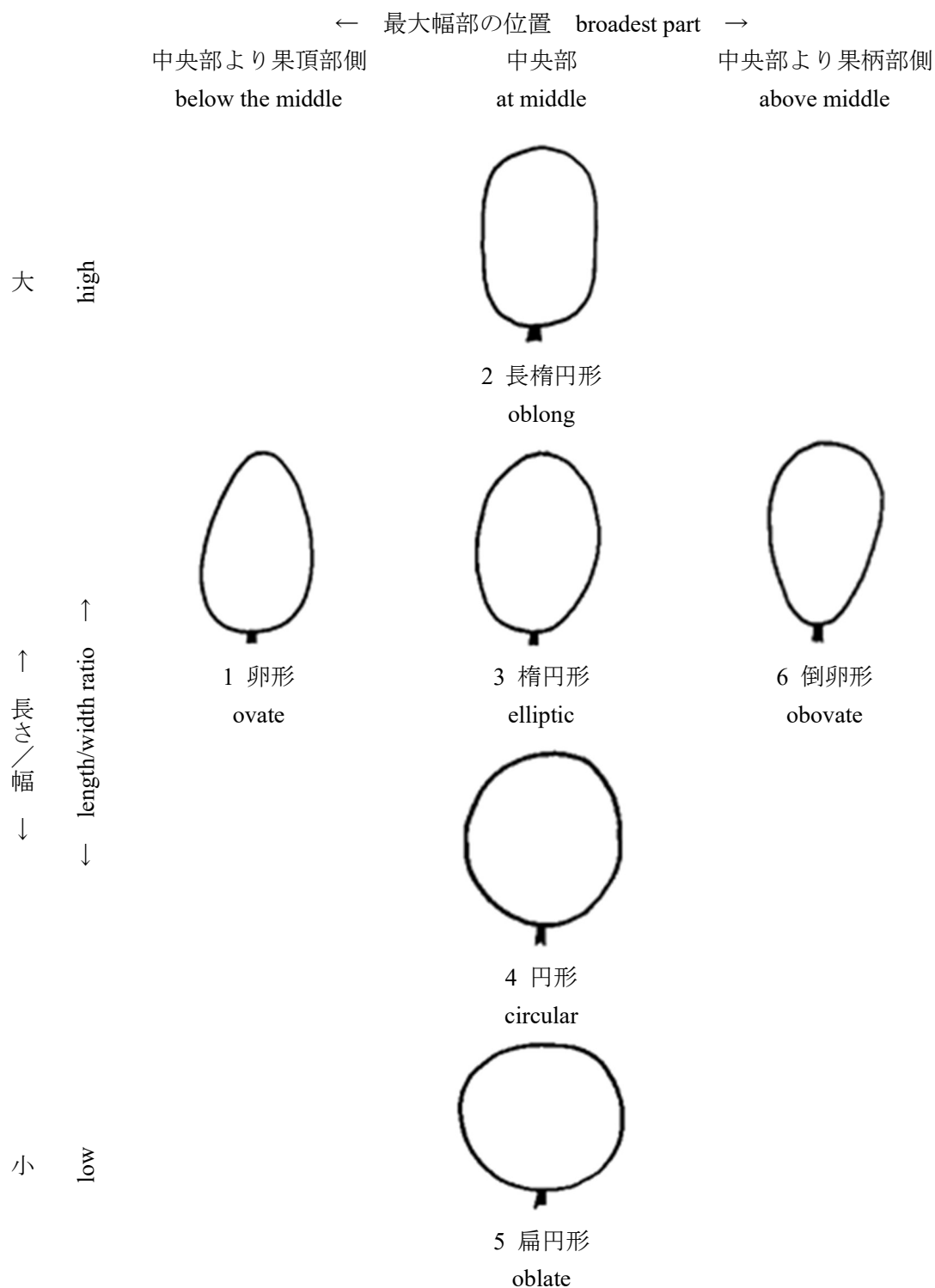


形質 50 果実の長さ／幅（花性が雄の品種を除く。）

Char. 50 Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite: Fruit: ratio length/width

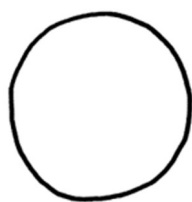
形質 51 果実の形（花性が雄の品種を除く。）

Char. 51 Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite: Fruit: shape

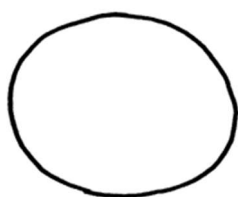


形質 52 果実中央部の横断面の形（花性が雄の品種を除く。）

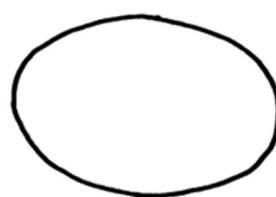
Char. 52 Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite: Fruit: shape in cross section (at median)



1
円形
circular



2
扁円形
oblate



3
横楕円形
transverse elliptic

形質 53 果頂部の形（花性が雄の品種を除く。）

Char. 53 Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite: Fruit: stylar end



1
かなりくぼむ
strongly depressed



2
ややくぼむ
weakly depressed



3
平
flat



4
丸
rounded



5
やや突出
weakly blunt
protruding



6
かなり突出
strongly blunt
protruding



7
尖る
pointed protrusion

形質 54 果頂部の尖りの強弱（果頂部の形が尖るの品種に限る。）

Char. 54 Only varieties with fruit: stylar end: pointed protrusion: Fruit: degree of pointed protrusion



1
弱
weak



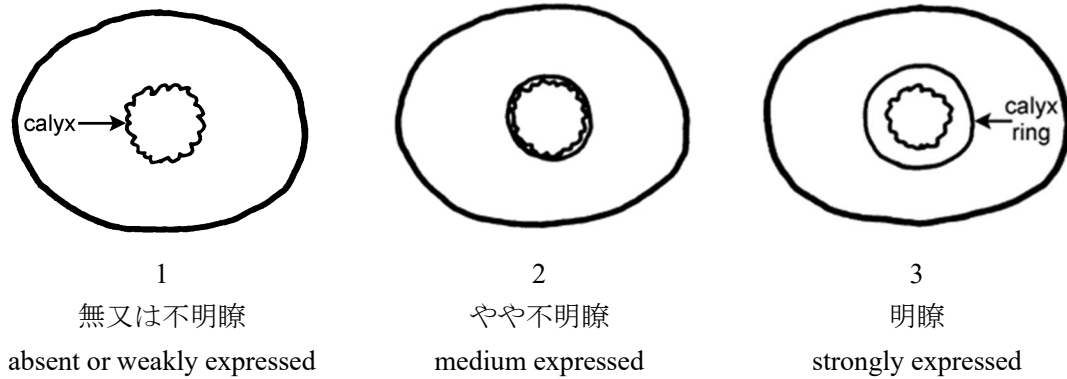
2
中
medium



3
強
strong

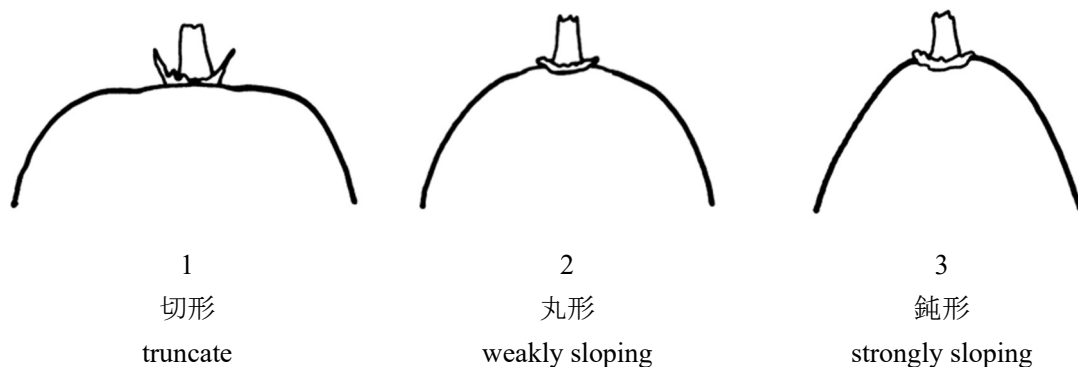
形質 55 果実のがくの周囲のリング（花性が雄の品種を除く。）

Char. 55 Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite: Fruit: presence of calyx ring



形質 56 果実の肩部の形（花性が雄の品種を除く。）

Char. 56 Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite: Fruit: shape of shoulder at stalk end



形質 58 果実に対する果柄の長さ（花性が雄の品種を除く。）

Char. 58 Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite: Fruit: length of stalk relative to length of fruit

相対的な長は、果実の長さと果柄の長さの比で評価する。

小：果実の長さに対してやや果柄の長さが短い

中：果実に対して果柄が同等の長さ

大：果実に対してやや果柄が長い

The relativity is determined by the size of the difference between the length of the stalk and the length of the fruit.

short means moderately shorter stalk to length of fruit

medium means similar stalk length to fruit length

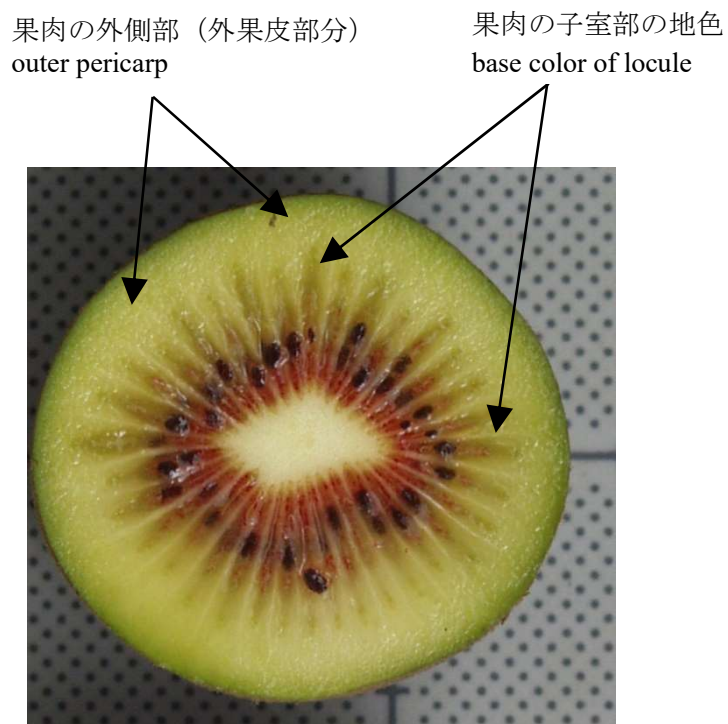
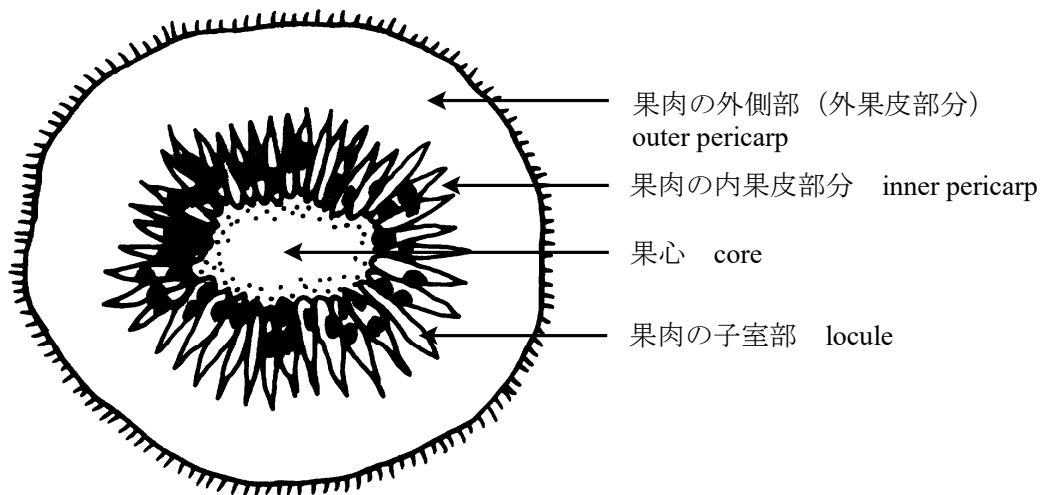
long means moderately longer stalk to length of fruit

形質 66 果肉の外側部の色（花性が雄の品種を除く。）

Char. 66 Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite: Fruit: color of outer pericarp

形質 67 果肉の子室部の色（花性が雄の品種を除く。）

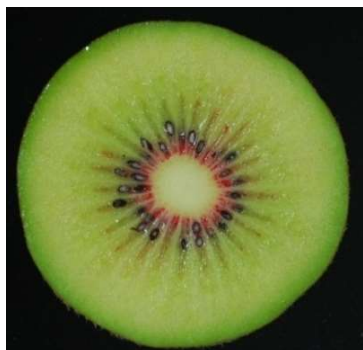
Char. 67 Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite: Fruit: color of locules



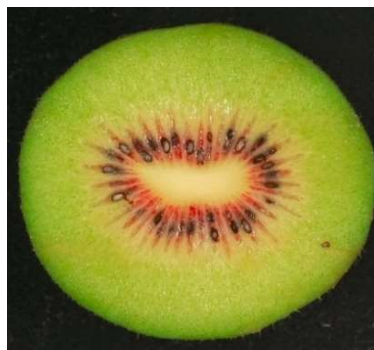
子室部分において地色と赤色着色の両方が認められる場合、地色を果肉の子室部の色（形質 67）として評価する。

形質 69 果心周辺の赤色着色の広がり（果心周辺の赤色着色が有の品種に限る。）

Char. 69 Only varieties with fruit: reddish color along locules: present: Fruit: spread of reddish color along locules



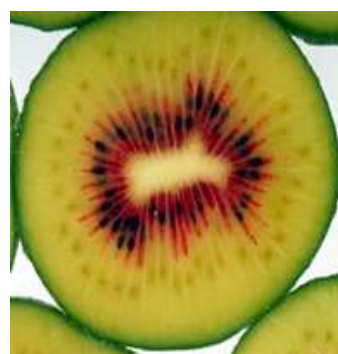
1
極弱
very weak



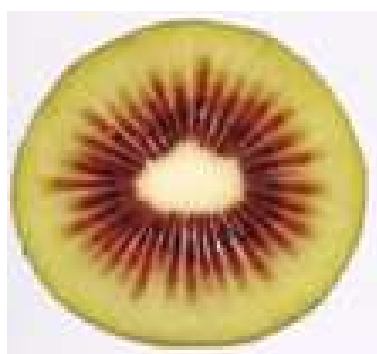
2
弱
weak



3
中
medium



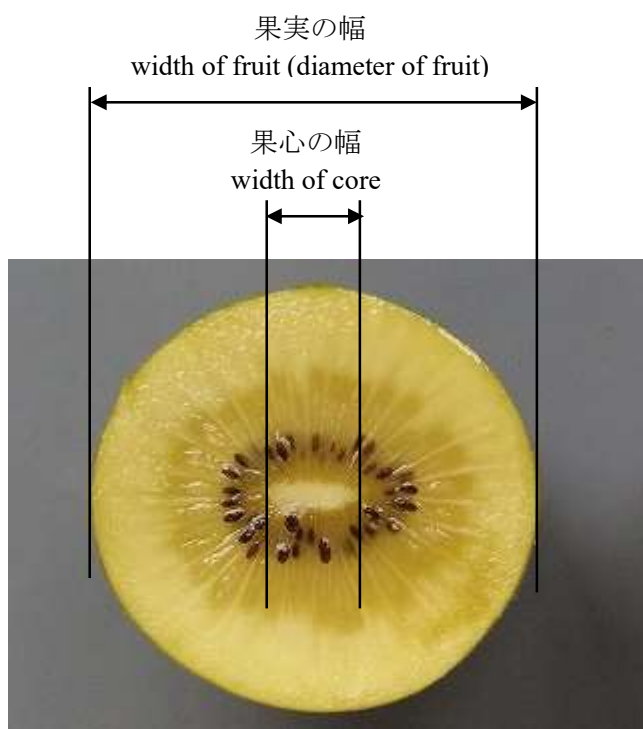
4
強
strong



5
極強
very strong

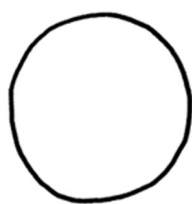
形質 71 果実に対する果心の幅（花性が雄の品種を除く。）

Char. 71 Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite: Fruit: width of core relative to fruit

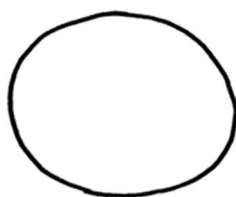


形質 72 果心の形（花性が雄の品種を除く。）

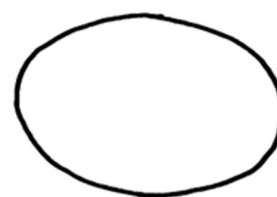
Char. 72 Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite: Fruit: general shape of core in cross section



1
円形
circular



2
扁円形
oblate



3
横橢円形
transverse elliptic

形質 74 果実の糖度（花性が雄の品種を除く。）

Char. 74 Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite: Fruit: sweetness

可溶性固形物含量を糖度計により測定する。

The total soluble solids content is measured by refractometer.

形質 75 果実の酸度（花性が雄の品種を除く。）

Char. 75 Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite: Fruit: acidity

滴定又は酸度計によるクエン酸換算の酸度を測定する。

Acidity is determined by titration of titrateable acids.

形質 78 収穫期（花性が雄の品種を除く。）

Char. 78 Only varieties with plant: sex: female or hermaphrodite: Time of maturity for harvest

収穫は、可溶性固形分の総量が、国や地域の収穫要件で決められたレベルに達したときに行うことが推奨される。総可溶性固形分は Brix テストによって測定することができる。

It is recommended that harvest occur when the total soluble solids content is at the level determined by national or regional harvest requirements. The total soluble solids can be measured by Brix test.